



## 学びの ページ

## い せ じ ん ぐ う げ ぐ う 伊勢神宮(外宮)

今回勉強する伊勢神宮の外宮は、正式には「豊受大神宮」といいます。主祭神である豊受大御神は、内宮にお祀りされている天照大御神にお捧げする御饌(お食事)を司る神様であり、稲をはじめ穀物・食物の主宰神、さらに衣食住、産業の守り神でもあります。

豊受大御神は元々、丹波国(現在の兵庫県)に祀られていたが、約一五〇〇年前、時の天皇に、天照大御神より「御饌つ神として豊受大御神を近くに呼んで欲しい」との神示があり、伊勢の地に移されました。

ちなみに、なぜ内宮より外宮を先にお参りするかというと、伊勢神宮では三節祭と呼ばれる大切なお祭りがあり、それらの行事は先に外宮、内宮の順に行われます。これに倣って、私たちが伊勢神宮をお参りする際も

外宮から先に参拝するのです。

伊勢神宮では朝と晩の二回、天照大御神と豊受大御神、その他の神々にお食事をお捧げし、御皇室のご安泰と、国民が幸福であるようにとお祈りする「日別朝夕大御饌祭」というお祭りがあり、豊受大神宮の建立以来、毎日続けられています。

私たちは天照大御神より「生命」を頂いていますが、それだけでは生きていけません。私たちを日々生かしてくれるもの、その一つが「食事」です。

私たちが日々頂く食物は、主食である米や五穀をはじめ、すべては大自然から恵まれるものです。さらに、食物は生産者から流通ルートなど多くの人の手を経て、私たちの手元に届きます。私たちの生活はこうした産業(農水産業など)によって支えられているのです。私たちを

生かしてくれる五穀の豊穰をはじめ産業一切が円滑に回るように導き、お護りくださっているのが豊受大御神です。

「生命」を司る天照大御神とあわせて、伊勢神宮にはすべての人が生きるために必要な恩恵を与えてくださる神様がお祀りされています。金剛さまが「この巡拝は日本国民を代表し、さらには世界五色人種を代表しての参拝である」とおっしゃった理由がここに拝察されます。

外宮参拝時には、数多のお蔭によって日々生かされていることに感謝すると共に、自分も社会の一員として世のため人のために、働かせていただくことをお誓いしましょう。

◎外宮を参拝する際、具体的にどんなことをお誓いするか、みんなて話し合ってみましょう。